日中だより

平成二十八年度
第五号
十一月発行
日進中職員室

文化祭大成功

十月十九日(水)、市民会館で文化祭を行いました。午前の歌声の会では、美しいハーモニーが会場に響きわたりました。午後は二・三年生がそれぞれ舞台発表を行いました。多くの保護者のみなさまに参観いただき、ありがとうございました。

全員で勝ち取った最優秀賞

三年一組　羽貝　彩葉

私は歌声の会で「一人一人の声が大事」ということを学びました。朝や帰りの歌練習をしていると、歌が得意な子と苦手な子との差がだんだん出てきてしまい、得意な子の声だけが飛び出て聞こえてしまうことがありました。その点を先生に注意され、全員で同じように歌えるように毎日昼放課を使って練習しました。一人一人しっかり意識することは難しかったです。本番は心を一つにして練習の成果を出すことができ、見事最優秀賞を取ることができ嬉しかったです。





みんなのために

三年三組　藤井　滉陽

僕は、クラス合唱の指揮者を務めました。最初全く指揮を振ることができなかったので、練習が進まず、ピアノと歌と指揮を合わせることができませんでした。迷惑をかけた分、みんなのためにも覚えなきゃと思い、何度も練習を重ねました。難しい箇所もたくさんありましたが伴奏者やパートリーダー、大竹先生に教えていただいたおかげで、本番はいつも以上に上手に振ることができました。そして、最優秀指揮者賞をいただくことができたので嬉しかったです。

歌声の会

二年一組　伏屋　恒輝

最初は男声が大きく、女声がかき消されていました。しかし、パートリーダーの声掛けやみんなの取組により、徐々に聞こえるようになりました。その勢いで本番に臨んだら、見事金賞という最高評価をいただけました。歌声の会を通してみんなで協力することの大切さ、協力して目標達成した時の喜び、最後まで諦めないことの大切さを学びました。

みんなで取った金賞

二年六組　松原　大悟

僕は体育大会の時、骨折していてクラスに貢献できず悔しい思いをしました。だから文化祭は良い思い出にしたいと思っていました。初めて指揮者に挑戦して正直不安でした。でも、みんなが「大丈夫」「頑張って」など応援してくれたので頑張ることができました。六組



最高の文化祭

一年四組　岩田　一花

私は初めての文化祭を最高の文化祭として終えることができました。その理由は、クラスで金賞を取ったからです。先輩から『My Own Road』で金賞は快挙だと言われた時、とても嬉しかったです。みんなに感謝です。

金賞の種は団結力

一年五組　小澤光や乃

「五組金賞」と言われ、声が出ないほど驚き、涙が出るくらい嬉しかったです。このような素晴らしい結果が出せたのは朝も放課もLTも金賞を目指して練習したからだと思います。金賞よりもみんなで団結できたことを嬉しく思います。また、私は幕間での演舞も行いました。みんなの反応が気になり不安でしたが、名前を呼んでくれ、大きな拍手をもらえたので安心しました。本当によい文化祭になりました。



文化祭を終えて

二年五組　小川　茜

私がこの文化祭で印象に残っていることは、学年発表の劇で司会役を務めたことです。練習で役作りに人一倍こだわったので本番では納得のいく演技ができ劇そのものを楽しめました。実行委員では自分の役割に責任をもって考動することができました。様々な経験ができた今回の文化祭は私にとってとても価値のあるものでした。





GUの翼

三年二組　三井田桃香

私は文化祭の学年発表で劇を担当しました。私自身とは全く異なるキャラクターなので台詞や動き方など演じきることが大変でした。本番は、途中でピンマイクの受け渡しを失敗するという事態が発生しましたが、練習通り落ち着いて対処することができました。練習では失敗ばかりで下を向くこともありました。しかし、本番ではみんなが上を向いてキラキラしていました。失敗を重ね、努力して完成させた文化祭は、一生心に残ると思います。



表現の難しさ

三年五組　谷上　優真

カンカン・コンコン」掃除道具で床を叩く音。僕が所属するストンプちりとり隊は、文化祭二週間前でも演技が未完成だった。僕は表現することの難しさを知った。先輩たちは簡単にやってのけていたのに…先輩の演技を思い出しながら僕は、一番大切な楽しむ気持ちを忘れていたこと、そして道具だけでなく身体全体で表現できることに気づいた。僕たちは全身で表現する新しい音で物語を創り上げた。このことから広く周りに目を向けることで、最高のものが作れることを学んだ。



ビッグバンド

三年四組　山根　祐史

僕は文化祭の学年発表でビッグバンドを行いました。僕はボーカルとギターを担当しました。ボーカルは歌詞が英語だったので覚えるのが大変でした。ギターはみんなと合わせるのが難しく、練習ではずれてしまいがちでした。本番では、歌詞を間違えずに、ギターもずれることなく弾くことができました。

裏方の誇り

三年六組　小野　数馬

私は大道具係でした。台車とイスを組み合わせて神様が乗る雲を作りました。三つの雲はイスの並べ方を変えて見た目の高さが異なるように工夫しました。動くものを丈夫に作るのは難しいです。通し練習には間に合わず、リハーサルでは運搬中に破損してしまったものを急いで修復することになりました。ガムテープの粘着力が徐々に落ちたり、結束バンドが切れたりしました。大成功で終わることができて本当に良かったです。



全日本吹奏楽コンクール金賞

今年の「夏」を通して

三年二組　向江　真太朗

今年度のA編成は、昨年の悔しい思いをバネに、昨年よりも早くメンバーを決めて練習しました。練習は上手くいかないことも多くありました。演奏会やコンクールを通して技術だけでなく、何事も自分から取り組む」ということを学び、人間として成長できたと思います。全国大会では、ずっと目標にしてきた金賞を受賞することができました。応援していただき、ありがとうございました。

六人でつないだ　タスキリレー

十月二十九日（土）、モリコロパークにおいて、愛日地区中学校駅伝大会が開催されました。本校は陸上部がないので、夏休み前に希望者を募り、練習を重ねました。アップダウンの厳しいコースでしたが、六区間でタスキをつなぎ見事完走しました。

第一走　谷上　優真（二年五組）
第二走　生田　陸（二年四組）
第三走　鈴木　豪（二年六組）
第四走　緒方　優希（二年四組）
第五走　長井　颯汰（二年四組）
第六走　赤尾　駿斗（二年四組）
控え　今井　雅樹（二年三組）

選手のみなさんお疲れ様でした。